

会議の概要（議事録）

会議の名称	(番号) 1-33	令和5年度 墨田区学校給食協議会		
開催日時	令和6年2月6日(火) 午後3時30分から4時30分まで			
開催場所	墨田区役所11階 教育委員会室			
出席者数	計22人 【委員】学校給食協議会委員 16名 【事務局】給食保健・就学相談担当職員 6名			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校給食の現状について 2 令和6年度学校給食費(案)について 3 その他 			
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 学校給食協議会資料 			
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長挨拶 3 委員紹介 4 議長の選出 輪番制(墨田区学校給食協議会に関する要綱第4条) 今年度は「区教育研究会小学校家庭科・食育部長」浮津あゆみ 隅田小学校長 5 議長挨拶 6 議事 <p>(1) 学校給食の現状について</p> <p>ア 教育委員会事務局より</p> <p style="margin-left: 20px;">事務局</p> <p style="margin-left: 20px;">配付資料4ページから13ページまでの内容について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中とともに概ね充足率を満たしている。 ・各実績データは、年間栄養所要量・食品構成は令和4年12月から令和5年11月まで、食材購入に関しては令和5年4月から11月までの期間で集計。 			

- ・令和5年度の購入実績に基づく1食単価は、小学校(中学年)282円15銭、中学校351円15銭。
- ・物価高騰に係る公費補助として、令和4年12月から令和5年9月まで1食1人あたり12円、令和5年10月からは1食18円を支給。
- ・物価高騰も長期化し、現状の給食費で次年度運営することは厳しい。

イ 区立小学校の現状

宮崎委員

- ・小麦粉・小麦製品、油脂類、魚介類をはじめとしたほぼ全ての食品が昨年度に引き続き値上がりしたが、このような状況の中で、区で給食費の一部助成をしていただくと共に各校が工夫して献立を作成したことで、栄養所要量と食品構成の基準をほぼ満たすことができた。
- ・ほとんどの栄養素が基準値を満たしているが、鉄と食塩が基準値から外れている。充足率をみると、鉄は前年度比で4ポイント増加、食塩は3ポイント減少できた。今後も工夫を重ねて改善していきたい。
- ・次年度も栄養バランスの整った、安全でおいしい給食を提供できるよう、食材の選定に一層努めていくが、給食の質を維持・向上するために次年度も給食費の一部助成を継続又は給食費の値上げを検討いただきたい。

ウ 区立中学校の現状

中山委員(日暮委員の代理)

- ・今年度も様々な要因により大幅な食品の物価上昇が続いており、より良い栄養価や食育を考慮した例年通りの給食提供が困難だった。
- ・栄養価に関しては、エネルギー、たんぱく質、脂質の三大栄養素は基準値を満たすことができた。また例年課題であるカルシウムは充足率90%まで上昇、鉄も6ポイント上げることができた。
- ・食塩相当量も未だに基準を上回っている状況であるが、昨年度より充足率を14ポイント減らし、各校平均平均3.1gにすることができた。今後も工夫を重ね、薄味でもおいしく食べられる給食をすすめていきたい。
- ・中学校の学校給食は、成人期に向けて食べることを学ぶ最後の教育時期であると考えている。今後も、限られた予算の中で、将来を担う「すみだのこどもたち」へ安全安心を第一に、豊かな食体験ができる給食を提供していきたい。

【質疑応答】

小武委員

バランスのよい、おいしい給食を提供できるよう栄養士の皆さんがいろいろご苦労されていることが分かった。自分の子どもも偏食があるが、給食はしっかり食べてくる。日々の学校給食に感謝すると共に、今後もおいしい給食をお願いしたい。

泉委員

3名の方から現状報告があったが、物価高騰の影響も大きく、学校給食の質の維持向上のためにも給食費の検討は必要だと感じた。またそうした厳しい状況の中で工夫して子どもたちへおいしい給食を提供してくれていることに感謝している。

(2) 令和6年度学校給食費(案)について

事務局

事務局より「令和6年度 給食費について(案)」を提示し、令和6年度の学校給食費は、月額で小学校・低学年4,684円、中学年5,156円、高学年5,693円、中学校6,079円、中学校夜間6,239円で提案する。

【意見交換】

泉委員

それぞれ増額とのことだが、この金額で次年度の給食運営が支障なくできるか小中学校の栄養士の方に意見を伺いたい。

宮崎委員

率直なところ、小学校はそれぞれ1食25円増額の提案となっており、とても嬉しい。次年度もいただいた給食費を有効に活用し、子どもたちのためにいろいろ工夫して給食を提供していきたい。

中山委員

毎日提供する牛乳は、次年度価格が分かるのは翌年度の5月頃である。その上り幅も気になるところではあるが、1食30円増額で現状いただいている物価高騰対策の補助より多くなるので良かった。

稲垣委員

現在、給食費は徴収免除になっているが、今後徴収免除が無くなった時に給食費が増額されていることを知ると驚くのではないか。その点、事務局ではどのように考えているのか教えていただきたい。

事務局

次年度については徴収免除事業を行う予算は確保している。今後議会の承認を経て事業継続が決定する。

西村委員

給食費に関し、次年度から東京都で保護者負担額の1/2を補助するという通知がある。また、もし徴収免除事業が今後終了することがあれば、その時の状況を踏まえ保護者負担額の適正なあり方について検討する。

宮本委員

次年度給食費について確認する。1食単価としては、小学校は低学年・中学年・高学年で各25円ずつ増、中学校は30円ずつ増ということによいか。

事務局

そのとおり。

令和6年度の学校給食費については、事務局案のとおり了承された。

(3) その他

泉委員

中学校PTA連合会の中で、墨田区の友好都市である長野県小布施町の交流事業に参加した方がおり、その時に食べたりんごがとてもおいしかったので給食で提供できないかという話があった。何かそれに関し、教育委員会で

	<p>動いているのか。</p> <p><u>西村委員</u></p> <p>そういった提案があったことは聞いている。また、小布施町の外に、北海道芽室町とも給食に関して取組みができたらという話があるが、いずれも具体的な動きは今のところ把握していない。</p> <p>7 閉会</p> <hr/> <p>会議の概要は、以上である。</p>
所 管 課	墨田区教育委員会事務局学務課給食保健・就学相談担当（内線 5 1 3 3）